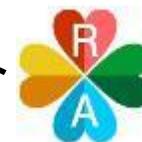


屋根被害

NPO家屋調査チェックリスト 解説マニュアル

作成：特定非営利活動法人 災害救援レスキューアシスト



現地調査チェックリスト(屋根被害対応編)の使い方

使い方

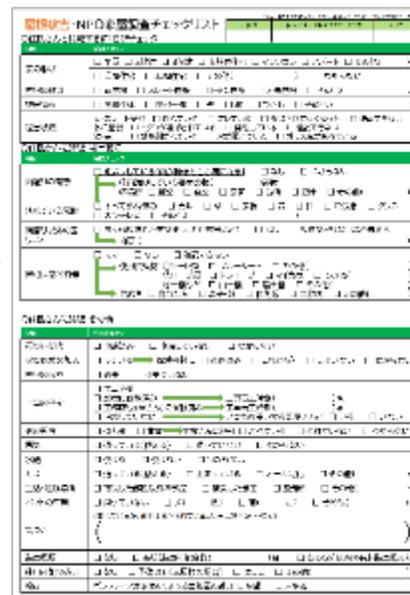
屋根被害対応編の場合、現場には、チェックリストとチラシを持っていきます。

チェックリストは、現場にもっていく際はA4サイズ1枚にまとめたシートを使用します(右、左図参照)

調査項目が何枚もあると使い勝手が悪いいため、1枚に入る内容に厳選して記載しています。

今回は見やすくするため、大きくしてご紹介します。

合わせて、住民さん自身が屋根の上に上がらないように危険啓発を目的に、上がらなくてもできる対応を伝えるチラシをお渡しします。(右、右図参照)



登るなケン 
屋根の上の活動は、技術を持つ技術者NPOでさえケンを行います。自分では登らず、応援が来るまでは安全な方法でのぞきましょう。

技術がなくてもできる？
屋内での雨漏り対策方法
①天井にブルーシートを張る
②水の流れ(勾配)をつける
③たらい等で流れてくる水を受け止める
(排水設備が近くにあれば、そこへ直接流すようにする)

※詳細はこちらの動画をどうぞ 



▲チラシ

◀A4サイズ1枚にしたシート

リストの入手方法

A4サイズ1枚にまとめたチェックリストやチラシは、本冊子18、19ページ、またはレスキューアシストのホームページで公開しています。

使用しながら改善を重ねていくため、最新版は必ずホームページでご確認ください。

ホームページ <https://rescue-assist.net/>

「レスキューアシスト資料集」→「2. 被災地活動用資料」から必要なリストをダウンロードして、ご活用ください。

屋根被害・NPO家屋調査チェックリスト

訪問日	訪問先(〇〇市町〇〇地区・〇〇邸)	訪問者

○住民さんと接触する前：目視チェック

見本

項目	確認チェック
家の形状	<input type="checkbox"/> 平屋 <input type="checkbox"/> 2階建 <input type="checkbox"/> 3階建 <input type="checkbox"/> 店舗付住宅 <input type="checkbox"/> マンション <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 洋風住宅 <input type="checkbox"/> 和風住宅 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> わからない
屋根の材質	<input type="checkbox"/> 瓦屋根 <input type="checkbox"/> スレート屋根 <input type="checkbox"/> トタン屋根 <input type="checkbox"/> 茅葺屋根 <input type="checkbox"/> その他()
被害箇所	<input type="checkbox"/> 屋根全体 <input type="checkbox"/> 屋根一部 <input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> 窓 <input type="checkbox"/> ひさし <input type="checkbox"/> その他()
被害状況	瓦・スレート屋根： <input type="checkbox"/> 崩れている <input type="checkbox"/> ズれている <input type="checkbox"/> 飛ばされてなくなった <input type="checkbox"/> 確認できない 茅葺屋根： <input type="checkbox"/> トタンが飛ばされている <input type="checkbox"/> 陥没している <input type="checkbox"/> 確認できない 壁・窓： <input type="checkbox"/> 壁が剥がれている <input type="checkbox"/> 穴が開いている <input type="checkbox"/> ガラス窓が割れている

○住民さんに確認：被害状況

項目	確認チェック
雨漏りの有無	<input type="checkbox"/> 雨漏りしている(雨が降ると音が聞こえる) <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> わからない <input checked="" type="checkbox"/> ①雨漏りしている部屋の数()部屋 <input checked="" type="checkbox"/> ②場所 <input type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> 寝室 <input type="checkbox"/> 玄関 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 倉庫 <input type="checkbox"/> その他()
濡れている家財	<input type="checkbox"/> すべて処分済み <input type="checkbox"/> 天井 <input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> 床板 <input type="checkbox"/> 畳 <input type="checkbox"/> 柱 <input type="checkbox"/> 冷蔵庫 <input type="checkbox"/> タンス <input type="checkbox"/> 大型テレビ <input type="checkbox"/> その他()
雨漏り以外の困りごと	<input type="checkbox"/> あり(例：濡れた家財出し、カビ被害など) <input type="checkbox"/> なし ※枠が足りない場合裏面へ <input checked="" type="checkbox"/> 内容()
屋根対応の有無	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 確認できない <input checked="" type="checkbox"/> 使用資機材 ①シート類 <input type="checkbox"/> ブルーシート <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> ②ロープ類 <input type="checkbox"/> トラロープ <input type="checkbox"/> マイカ線 <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> ③土嚢など <input type="checkbox"/> 白土嚢 <input type="checkbox"/> 黒土嚢 <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 対応者 <input type="checkbox"/> 自分たち <input type="checkbox"/> 息子・娘 <input type="checkbox"/> 自衛隊 <input type="checkbox"/> 工務店 <input type="checkbox"/> その他()

見本

登るなキケン



屋根の上の活動は、技術を持つ技術系NPOでさえ
キケンを伴います。
自分達では登らず、応援が来るまでは安全な方法で
しのぎましょう。

技術がなくてもできる？

屋内での雨漏り対策方法

- ①天井にブルーシートを張る
- ②水の流れ(勾配)を付ける
- ③たらい等で流れてくる水を受け止める
(排水設備が近くにあれば、そこへ直接
流すようにする)

※詳細はこちらの動画をどうぞ



現地調査チェックリスト(屋根被害対応編)

○チェックリストの目的

目的

このチェックリストは屋根被害にあった家の応急処置を行う前の事前確認(現地調査)の際に使用します。同時に事前確認では、住民さんの話を聞き、受け止め、不安や心配事を取り除くことも、大切な役割となります。昨今コロナ禍での災害となり、ボランティア募集もしにくい状況があります。対応に入るまでに時間がかかることもあるため、この事前確認によって、少しでも住民さんの気持ちに寄り添うことができればと思います。

チェックリストは、人によって調査する項目に偏りがでないよう、最低限取得したい確認事項を記載しています。あくまで作業をする上での確認に絞ったため、福祉的な視点での調査項目は載せていません。そのため、「このチェックリスト項目さえ聞ければよい」というものではなく、他にも気づいたことや気になったことは、用紙の裏面等に書きとどめるようにしましょう。

リストを使用する対象者

- ・屋根被害対応の経験者であり、住民さんの声にしっかりと耳を傾けられる方。
 - ・ボランティアの安全を確保できる方。
- ※屋根被害の対応経験や屋根の上での活動に対する危険性を十分理解していない方に、いきなり事前確認(現地調査)をお願いすることはありません。

確認前・作業前の心構え

- ・写真を撮る際は必ず住人さんの許可をとる。
- ・カビ被害の対応等で、天井や壁に穴を開けるなど家屋に手を加える場合は、事前に本部の許可を得るものとし勝手な判断で行わない。
- ・相手の立場になって言葉を選んでお話しする。
- ・家だけでなく、住人さんの健康被害を守ることも大切にする。



<屋根上の様子>

夏場は直射日光と瓦の照り返しで暑い中での作業となる。それでも住民さんの笑顔のために

○屋根の調査に必要な持ち物

必要な工具	解説
はしご・ドローン	目視できない屋根の上の状況を確認するために使う。 ただし、はしごは一人のときには使用しない(屋根の上にはあがらない)。抑える人がいる時のみはしごに登り撮影する。
メジャー・定規	長さ等を測るために使う。
室内用脚立	天井裏を見るために使う。ただし、脚立を抑える人がいる場合に限り使用する。
ライト	天井裏や壁裏等暗い場所を確認するときに使う。 
ヘルメット	頭を守るために使う。
携帯 タブレット	写真を撮る(できるだけ多く撮る)。 アイパッドなど画面の大きいものを使えば、その場で住民さんにも見せることができ便利。

○追加で必要な持ち物(カビ発生の可能性がある場合)

必要な工具	解説
ドライバーセット	壁裏を確認する際に、コンセントカバーをはずすときなどに使う。

(番外編)チラシについて

配布について

そもそも屋根に上がることはとても危険なことです。
もし住民さん自ら屋根に上がっていた場合、住人さんが屋根に上がらないよう促すため、このチラシをお渡しして、室内でできる対応をお伝えしましょう。

またチラシをお渡しする前に、「ブルーシートを部屋に張る」動画は必ず一度は見て下さい。

動画はこちら ▶ <https://www3.nhk.or.jp/news/special/suigai/video/category/04.html>



※この動画は、NHKの許可を得て掲載しています。ネット検索は「NHK 水害の後」。

目的

屋根に上がることは、危険を伴います。

技術を持ったNPOであっても、危険と隣り合わせて活動しています。だからこそ、住民さんが屋根に上がって作業をすることは勧めていません。

雨漏りして不安で屋根に上がってしまった気持ちも十分理解した上で、もし屋根に上がって作業している住民さんを見かけた際は、屋根に上がらなくてもできる対応方法をお伝えするようにしましょう。

ちなみに・・・

屋根に上がる活動は、本来ボランティアの領域で行うことではありません。それは危険を伴うからです。しかし、目の前に困っている住民さんがいながら、対応しないわけにはいきませんでした。

そこで、技術のある方に教えていただき、技術を取得しながら、より良い方法・より安全な方法を考え、たどり着いたのが、現在の屋根の活動です。

怪我や万が一の事故が起きた場合、依頼した住民さんも悲しみます。「私が頼まなければよかった・・・」と後悔にもつながります。

屋根の活動は危険を伴うことを十分理解した上で実施することが重要であり、その事前準備として、ボランティアの命を守るためにも、現地調査は大切な活動となります。

現地調査チェックリスト(屋根被害対応編)

解説版

○目視チェック 現地調査の目的:現状をしっかりと把握する

項目	解説								
家の形状	家の形状や階数により持っていくはしごの長さが異なる。 また被害の状況や作業する屋根の広さ、範囲により、ボランティアの派遣人数の見立てを行う。								
屋根の材質 被害状況	<p>屋根の材質は、瓦だけではない。材質によって修繕の仕方が変わってくるので、できる限り確認する。屋根の材質に応じたそれぞれの被害の特徴は以下。</p> <table border="1" data-bbox="443 539 2179 1544"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 539 1312 608">瓦屋根</th> <th data-bbox="1312 539 2179 608">スレート瓦</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 608 1312 986"> <p>和風家屋に多い、一般的な屋根。 瓦のずれ、崩れ、飛ばされてなくなるなどの被害がしやすい。 飛ばされた瓦は隣家の壁に刺さったり、窓ガラスを割るなど、ご近所トラブルにつながる事例もあった。</p>  </td> <td data-bbox="1312 608 2179 986"> <p>工事価格が安く、瓦よりも安いいため、日本の住宅では人気の屋根材ですが、割れやすいデメリットもある。 瓦屋根同様、ずれや崩れ、飛ばされるなどの被害がしやすい。</p>  </td> </tr> <tr> <th data-bbox="443 986 1312 1054">トタン屋根</th> <th data-bbox="1312 986 2179 1054">茅葺屋根</th> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1054 1312 1544"> <p>薄い鉄板の屋根材。とにかく安く、軽量であることが特徴だが、耐用年数が短いことやサビ、断熱性が低いなどのデメリットもある。軽量であるがゆえに、飛ばされるなどの被害がしやすい。</p>  </td> <td data-bbox="1312 1054 2179 1544"> <p>茅葺屋根の家は茅葺職人の減少と共に減ってきている。そのため、昔、茅葺屋根であったところには、トタンを載せているところもある。被害はそのトタンが飛ばされたり、屋根が陥没するなどがある。 茅葺屋根は急勾配のため、作業時は足場を作り、対応していく必要があるため、専門技術が必要となる。</p>  </td> </tr> </tbody> </table>	瓦屋根	スレート瓦	<p>和風家屋に多い、一般的な屋根。 瓦のずれ、崩れ、飛ばされてなくなるなどの被害がしやすい。 飛ばされた瓦は隣家の壁に刺さったり、窓ガラスを割るなど、ご近所トラブルにつながる事例もあった。</p> 	<p>工事価格が安く、瓦よりも安いいため、日本の住宅では人気の屋根材ですが、割れやすいデメリットもある。 瓦屋根同様、ずれや崩れ、飛ばされるなどの被害がしやすい。</p> 	トタン屋根	茅葺屋根	<p>薄い鉄板の屋根材。とにかく安く、軽量であることが特徴だが、耐用年数が短いことやサビ、断熱性が低いなどのデメリットもある。軽量であるがゆえに、飛ばされるなどの被害がしやすい。</p> 	<p>茅葺屋根の家は茅葺職人の減少と共に減ってきている。そのため、昔、茅葺屋根であったところには、トタンを載せているところもある。被害はそのトタンが飛ばされたり、屋根が陥没するなどがある。 茅葺屋根は急勾配のため、作業時は足場を作り、対応していく必要があるため、専門技術が必要となる。</p> 
瓦屋根	スレート瓦								
<p>和風家屋に多い、一般的な屋根。 瓦のずれ、崩れ、飛ばされてなくなるなどの被害がしやすい。 飛ばされた瓦は隣家の壁に刺さったり、窓ガラスを割るなど、ご近所トラブルにつながる事例もあった。</p> 	<p>工事価格が安く、瓦よりも安いいため、日本の住宅では人気の屋根材ですが、割れやすいデメリットもある。 瓦屋根同様、ずれや崩れ、飛ばされるなどの被害がしやすい。</p> 								
トタン屋根	茅葺屋根								
<p>薄い鉄板の屋根材。とにかく安く、軽量であることが特徴だが、耐用年数が短いことやサビ、断熱性が低いなどのデメリットもある。軽量であるがゆえに、飛ばされるなどの被害がしやすい。</p> 	<p>茅葺屋根の家は茅葺職人の減少と共に減ってきている。そのため、昔、茅葺屋根であったところには、トタンを載せているところもある。被害はそのトタンが飛ばされたり、屋根が陥没するなどがある。 茅葺屋根は急勾配のため、作業時は足場を作り、対応していく必要があるため、専門技術が必要となる。</p> 								

現地調査チェックリスト(屋根被害対応編)

解説版

○目視チェック

項目	解説		
被害箇所 被害状況	被害のある場所やその状況によっても対応の方法が異なる。対応はあくまで『応急処置』となり、工事完了までの期間が長いほど、数回の対応が必要になることもある。瓦職人が減っているいま、災害の規模が大きいほど、工事に入るまでに時間がかかる(2018年大阪北部地震の対応も未だに行われている)。数回に渡る対応が必要になったとしても、できる限り1度の対応で、長持ちする方法を検討するため、正しく被害を把握する必要がある。		
	屋根全体	屋根一部	壁・窓・ひさし
			
	屋根全体に大きく被害が出ている場合、ブルーシート等を張って対応する。ただし被害箇所や状態により屋根全体をシートで覆わなくてよい場合もある。可能であれば屋根のどの部分に被害があるかまで確認できるとよい。 (大棟、下がり棟、平瓦など) 	屋根の一部だけが被害に遭っている場合、瓦を正しく並べ直したり、瓦が飛んでなくなっていれば、予備の瓦やアシスト瓦をはめ直すなど最小限の対応で済むこともある。被害箇所と規模を確認するとよい。 アシスト瓦で対応した事例▶ 	壁や窓の場合、何かが当たって破損することが多い。被害の状態や規模により、木材やアシスト瓦、飛んでいった部材(トタン等)で対応していく。被害箇所や状態の確認のほか、飛んでいった部材の有無も確認しておくとうい。  ◀壁 軒下▶ 

○住民さんに確認:被害状況

項目	解説
雨漏りの有無	<p>雨漏りは雨が降っているときにしか確認ができないので、雨の日に雨漏りがあるかどうか聞くようにする。また雨漏りがある場合は、その部屋の中から(天井の状況も確認する)と、家の外から(屋根の状態を確認する)の両方から確認するようにする。</p> <p>合わせて、雨漏りがなくても、天井が湿っている場合は確認する。小規模の雨漏りの可能性や、工事完了前に雨漏りしていた場所である可能性がある。湿ったまま放っておくとカビ発生の原因になることもある。</p>
濡れている家財	<p>雨漏りがある場合、湿っている部材があるか確認する。長時間湿ったまま放っておくとカビの原因になる。特に天井裏や壁裏の断熱材など見えない部分で湿っている可能性もあるため、雨漏りがあるまたはあった場合には確認することが大切。</p> <p>カビ <確認方法> 天井裏:点検口から確認。点検口がない場合、住民さんの許可を取った上で押入れの天井等目立ちにくい場所に穴をあけて確認する。</p> <p>壁裏:本来は壁裏の確認には資格が必要である。あくまで参考として壁裏確認方法を示す。 天井からの雨漏りで壁が濡れている場合、濡れた断熱材が入っているかをコンセントのカバーを外して隙間からライトなどで照らして確認する。 ※コンセントや点検口がない場合、住民さんの許可がとれば、壁に穴をあけて確認することもある。その場合、壁が石膏ボードであれば、中が空洞になっている場所に穴をあけるようにする(柱や筋交いのない場所に穴をあける)</p> <p>家電 災害救助法が適応された場合、各家電メーカーで特別価格で修理してもらえる可能性が高い。修理できる期間はメーカーや製品により異なるが生産終了から数年(※購入してからではない)は修理できる可能性が高い。買ったばかりの家電や、高価な製品などは捨てる前に一度メーカーに問い合わせるよう、お声掛けする。</p>



壁の裏、カビ発生



コンセントはずす



濡れた家財

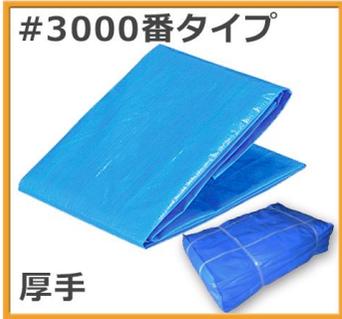
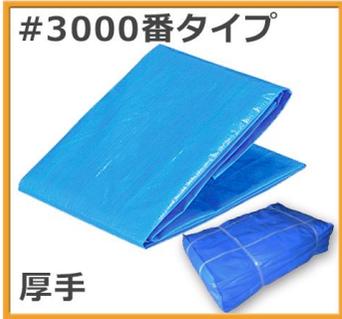
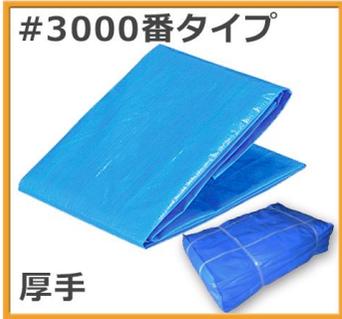


災害廃棄物の削減にもつながるかも? ▲

現地調査チェックリスト(屋根被害対応編)

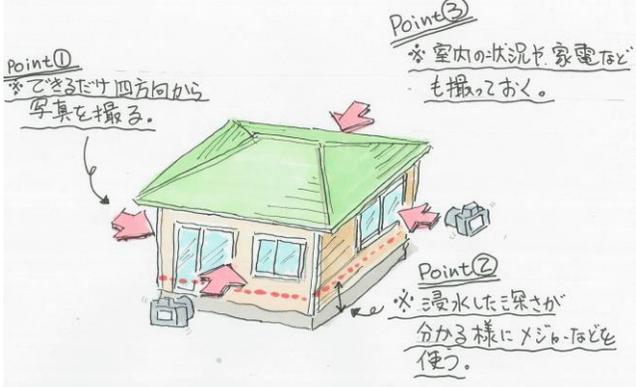
解説版

○住民さんに確認:被害状況

項目	解説											
雨漏り以外の困りごと	<p>雨漏り以外にも困りごとはないか聞く。ただし「何か困っていますか?」「大丈夫ですか?」と聞くとどこまでお願いしていいのかもわからず、住民さんは答えにくい場合もある。「濡れた家財出しましょうか?」「天井など、カビが発生して困っていませんか?」など、具体的に質問していくことも、困りごとを引き出すテクニックの1つ。住民さんとのなにげない会話の中にこそ、本当に困っていることがあると心積もりして対応する。</p> <p>一方で、ボランティアは困りごと全てに対応できるわけではない。困りごとの種類に応じて、専門家につなぐことも大切。(どんな活動をしている団体があるか、事前に知っておくと住民さんに提示する選択肢の幅が広がる)</p>											
屋根対応の有無	<p>屋根の対応をすでに行っている場合は、どんな対応がされているか確認しておく。専門家を名乗り、あまりに粗末な対応が施されている場合、指導する必要もでてくる。</p> <table border="1" data-bbox="427 807 2168 1445"> <thead> <tr> <th data-bbox="427 807 1003 874">シート類</th> <th data-bbox="1003 807 1579 874">ロープ類</th> <th data-bbox="1579 807 2168 874">土嚢など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="427 874 1003 1203">  </td> <td data-bbox="1003 874 1579 1203">  </td> <td data-bbox="1579 874 2168 1203">  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 1203 1003 1445"> <p>ブルーシートは3000番以上の厚手のものを使用することが望ましい。薄いシートでは耐久性が低く、何度も張替えが必要になる。</p> </td> <td data-bbox="1003 1203 1579 1445"> <p>畑等で使用されるマイカ線がベスト。その他のロープは劣化しやすい。ロープのほか、エースクロスの防水テープを使うのもよい。</p> </td> <td data-bbox="1579 1203 2168 1445"> <p>黒土嚢袋の使用が望ましい。UV加工され劣化しにくい。また土嚢袋の中には割れた瓦や石を入れない。劣化し袋が破け、落下した際に怪我人が出る可能性がある。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>過去の被災地では、自衛隊と協力して対応したこともある。対応できる団体が少ない中、被害件数が多い場合は、自衛隊や消防、とび職など、普段から屋根に上がっている人と協力することも検討する。</p>			シート類	ロープ類	土嚢など				<p>ブルーシートは3000番以上の厚手のものを使用することが望ましい。薄いシートでは耐久性が低く、何度も張替えが必要になる。</p>	<p>畑等で使用されるマイカ線がベスト。その他のロープは劣化しやすい。ロープのほか、エースクロスの防水テープを使うのもよい。</p>	<p>黒土嚢袋の使用が望ましい。UV加工され劣化しにくい。また土嚢袋の中には割れた瓦や石を入れない。劣化し袋が破け、落下した際に怪我人が出る可能性がある。</p>
シート類	ロープ類	土嚢など										
												
<p>ブルーシートは3000番以上の厚手のものを使用することが望ましい。薄いシートでは耐久性が低く、何度も張替えが必要になる。</p>	<p>畑等で使用されるマイカ線がベスト。その他のロープは劣化しやすい。ロープのほか、エースクロスの防水テープを使うのもよい。</p>	<p>黒土嚢袋の使用が望ましい。UV加工され劣化しにくい。また土嚢袋の中には割れた瓦や石を入れない。劣化し袋が破け、落下した際に怪我人が出る可能性がある。</p>										

現地調査チェックリスト(屋根被害対応編)

○住民さんに確認 現地調査のもう一つの目的:住民さんの不安解消

項目	説明
<p>罹災証明書</p>	<p>罹災証明書を申請することによって、その判定に応じた様々な公的支援が受けられる(水道代の免除、税金の免状等)。まずは申請することが大切。申請には被災した状態がわかる写真が必要になる。手を付ける前に必ず写真を撮る(写真の撮り方は右図参照)</p> <p>※住居ではなく、お店が被災した場合は「被災証明書」の提出が必要。提出によって、行政や組合からの補償を受けられる場合もある。</p> 
<p>火災保険の加入 屋根の写真</p>	<p>火災保険加入済みの場合、オプションで保険対応できる可能性が高い。また屋根の上の被害写真が必要か忘れずに聞く。被害写真を提出しないままシートを展張した場合、保険会社がシートを外して写真を撮る必要が出てくるため、手間がかかり、対応が後回しにされることがある。</p>
<p>工事の予定</p>	<p>業者や工務店(瓦屋さん)に連絡しているか、また連絡していなくても、いつもお願いする瓦屋さんがあるかの確認は必要。ボランティア対応はあくまで応急処置。最終的には業者や工務店対応が必要になる。工事着工の時期によっては、業者や工務店と相談しながら活動を進めたり、着工がだいぶ先になる場合には、より長持ちする対応方法を検討する必要がある。</p> <p>※住民さんの生活状況(生活保護、高齢でローンが組めない等の特別な問題を抱えている場合)によっては、ボランティアでできる限りの特別な対応を行う場合もある。その場合は、社協や行政等、関わっている人と相談しながら進めていくことが大切。</p> 

現地調査チェックリスト(屋根被害対応編)

○住民さんに確認

項目	説明
家の所有	基本は持ち家の依頼が多い。ただし過去には、賃貸物件で、大家さんは解体したいが住民さんは住み続けたい(生活保護などで引越し先が見つからない)など複雑な対応ケースもあった。両者の意向を聞き、妥協点を探していくことや社協や行政と連携し、一緒に対応していくことが大切。
電気	<p>電気が通っていない(使えない)場合には、作業時に発電機の用意をする。</p> <p>また夏場は、電気が通っていない=クーラーが使えない可能性が高い。熱中症の危険性が高まり命に関わるため、「(エアコンは)使わないから大丈夫」と言われても、エアコンが今どんな状態か、エアコンの代わりの熱中症対策はできているか必ず確認する。</p> <p>※ただし、室外機が浸水している場合は、危険なため通電して確認しない。</p> <p>＜豆知識＞エアコンが動かない！ 考えられる原因</p> <p>①電気が通じていない</p> <p>②基盤に泥が載っている(この場合、電気が通じていても使えないことがある)</p> <p>※②はエアコンに詳しいNPOが応急処置できる可能性がある。一度相談する。</p>
水道	水が使えない場合、どこで水を確保できるか確認が必要。また水が使えない場合、お風呂に入れていない可能性がある。さりげない会話の中で、住民さんの困りごとを拾っていくことも大切。
ガス	ガスが通じてない場合、料理をすることができず偏った食事をしてる可能性がある。また暖かいお湯が出ないので冷水で体を洗ってる可能性がある。
生活・睡眠場所	避難所に避難しているか、在宅避難をしているかにより、届いている支援に差が出る場合がある。特に情報については、在宅避難者には届きにくいとされている。屋根被害の場合、在宅でそのまま暮らしている人が多いため、被害が見えにくい。全戸訪問(ローラー)調査のほか、普段から関わりのある社協や民生委員、ケアマネジャー、町会長等との連携も大切になってくる。

▼ エアコン室外機



中を掃除してしっかり乾かせば使える場合もある



現地調査チェックリスト(屋根被害対応編)

○住民さんに確認

項目	説明
ペット	<p>ペットを飼っている人にとってペットは家族と同じ。「ペットがいるから避難所には行けない」「ペットがいるために、車中泊している(車中泊の場合はエコノミー症候群に注意)」と悩んでいる住民さんもいる。必要に応じて、ペットや動物支援をしている団体に相談することも検討する。</p>
気づき 	<p>項目にはない気づきを記入する。その気づきが、住民さんが抱える本当の課題や心配事の可能性もある。気づきによって、心の寄り添いや生活の質の向上、命を救う可能性があるため、気づいたことはたくさん書きとどめよう。</p> <p>また、ボランティア自身も1人で抱えこまず、気づいたことを吐き出すことも大切。吐き出すことで、住民さん一人ひとりの次の支援をみんなで考えていくことができる。</p> <p><気づきから次の支援につながる可能性は無限！以下はその例></p> <p>気づき① 家屋のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要望されていない寝室も雨漏り被害にあっていそう。 ・床や壁がぶよぶよしている。 ・部屋の中がカビ臭い。 ・換気できていない様子。 <p>➡要望はないにしても、ボランティアが入る際に頭の片隅に注意点をに入れて対応することが可能</p> <p>気づき② 避難生活のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事をとる元気がない。 ・お風呂に入っていない。 ・被災して着替えがない。 <p>➡食事・入浴支援等の抜け漏れがないか再度確認し、生活環境の支援を見直すことも考えられる。また健康面の不安がある場合、必要に応じて早急に保健医療につなぐ。</p> <p>気づき③ 車のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車が被災した。 ➡移動手段がなく買い物難民の可能性もある。カーシェアリング等の支援団体に相談。 <p>※屋根被害の対応の場合、工事着工までに時間がかかることが多い。そのため、数か月おきに、資機材が劣化していないか確認していくことも必要になる。中長期的な関わりこそ大切になるため、住民さんと少しずつ関係性を築き、被害によって起きている困りごとが相談しやすい関係性を築けるとよい。</p>

現地調査チェックリスト(屋根被害対応編)

○住民さんに確認

項目	説明
駐車場所	駐車するスペースがない場合、ボランティア同士乗り合っていくことも考えられる。 可能であれば、大型の車が入るのか、軽トラや軽自動車でないか難しいのかも確認できるとよい。
使用可能な道具	住民さん自身が道具を持っていなくても対応は可能だが、特に瓦が破損している場合、予備の瓦があると見た目もきれいな応急処置が可能となる。 築年数が経過しているほど、似ている瓦が揃えにくくなるので、予備の瓦があるとよい。 ※瓦は、各被災地で、解体するお宅からいただくこともある。 保管場所があれば、いただいた瓦を保存し、必要なときに使用できるようにしておくとうい。
確認	ボランティア対応はあくまで『応急処置』。最終的には業者や工務店対応が必要になる。 技術系災害支援のプロ意識はあっても、最後の仕上げまでは基本的には行わないのがボランティア活動。その旨を、住民さんにも説明し、ご理解いただくことが大切。 費用については一切かからないことも伝える。



◀ 随時講習会等を行い、地元で対応できる人を育てている。
写真は、自衛隊にブルーシート展張の講習をしている様子。

屋根被害・NPO家屋調査士エックリスト

作成：株式会社利活助法人 災害救助レスキューアシスト(2021年9月20日更新)

○住民さんと接触する前:目視チェック

項目	確認チェック	訪問日	訪問先(〇〇市街(〇〇地区・〇〇邸))	訪問者
家の形状	<input type="checkbox"/> 平屋 <input type="checkbox"/> 2階建 <input type="checkbox"/> 3階建 <input type="checkbox"/> 店舗付住宅 <input type="checkbox"/> マンション <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 洋風住宅 <input type="checkbox"/> 和風住宅 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> わからない			
屋根の材質	<input type="checkbox"/> 瓦屋根 <input type="checkbox"/> スレート屋根 <input type="checkbox"/> トタン屋根 <input type="checkbox"/> 茅葺屋根 <input type="checkbox"/> その他()			
被害箇所	<input type="checkbox"/> 屋根全体 <input type="checkbox"/> 屋根一部 <input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> 窓 <input type="checkbox"/> ひさし <input type="checkbox"/> その他()			
被害状況	瓦・スレート屋根： <input type="checkbox"/> 崩れている <input type="checkbox"/> スれている <input type="checkbox"/> 飛ばされてなくなった <input type="checkbox"/> 確認できない 茅葺屋根： <input type="checkbox"/> トタンが飛ばされている <input type="checkbox"/> 陥没している <input type="checkbox"/> 確認できない 壁・窓： <input type="checkbox"/> 壁が剥がれている <input type="checkbox"/> 穴が開いている <input type="checkbox"/> ガラス窓が割れている			

○住民さんに確認:被害状況

項目	確認チェック
雨漏りの有無	<input type="checkbox"/> 雨漏りしている(雨が降ると音が聞こえる) <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> わからない <input checked="" type="checkbox"/> 雨漏りしている(雨漏りしている部屋の数) ①場所 <input type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> 寝室 <input type="checkbox"/> 玄関 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 倉庫 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> すべて処分済み <input type="checkbox"/> 天井 <input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> 床板 <input type="checkbox"/> 畳 <input type="checkbox"/> 柱 <input type="checkbox"/> 冷蔵庫 <input type="checkbox"/> タンス <input type="checkbox"/> 大型テレビ <input type="checkbox"/> その他()
雨漏り以外の困りごと	<input type="checkbox"/> あり(例:濡れた家財出し、カビ被害など) <input type="checkbox"/> なし ※枠が足りない場合裏面へ <input checked="" type="checkbox"/> 内容()
屋根対応の有無	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 確認できない 使用資機材 ①シート類 <input type="checkbox"/> ブルーシート <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> ロープ類 <input type="checkbox"/> トラロープ <input type="checkbox"/> マイカ線 <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 土嚢など <input type="checkbox"/> 白土嚢 <input type="checkbox"/> 黒土嚢 <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 自分たち <input type="checkbox"/> 息子・娘 <input type="checkbox"/> 自衛隊 <input type="checkbox"/> 工務店 <input type="checkbox"/> その他()

○住民さんに確認:その他

項目	確認チェック
罹災証明書	<input type="checkbox"/> 申請済み <input type="checkbox"/> 申請していない <input type="checkbox"/> わからない
火災保険の加入	<input type="checkbox"/> している <input checked="" type="checkbox"/> (保険会社に <input type="checkbox"/> 連絡済み <input type="checkbox"/> これから) <input type="checkbox"/> していない <input type="checkbox"/> わからない
屋根の写真	<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 必要ではない
工事の予定	<input type="checkbox"/> 工事不要 <input type="checkbox"/> 業者に依頼済み <input checked="" type="checkbox"/> 工事着工時期()頃 <input type="checkbox"/> 工務店(瓦屋さん)に依頼済み <input checked="" type="checkbox"/> 工事着工時期()頃 <input type="checkbox"/> 連絡していない <input checked="" type="checkbox"/> いつもお願いする瓦屋さんが <input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない
家の所有	<input type="checkbox"/> 持ち家 <input type="checkbox"/> 賃貸 <input checked="" type="checkbox"/> 大家さんの許可 <input type="checkbox"/> とれている <input type="checkbox"/> とれていない <input type="checkbox"/> わからない
電気	<input type="checkbox"/> 通っている(使える) <input type="checkbox"/> 通っていない <input type="checkbox"/> わからない
水道	<input type="checkbox"/> 使える <input type="checkbox"/> 使えない <input type="checkbox"/> わからない
ガス	<input type="checkbox"/> 通っている(使える) <input type="checkbox"/> 止まっている <input type="checkbox"/> オール電化 <input type="checkbox"/> その他()
生活・睡眠場所	<input type="checkbox"/> 被災した部屋以外の部屋 <input type="checkbox"/> 被災した部屋 <input type="checkbox"/> 避難所 <input type="checkbox"/> その他()
ペットの有無	<input type="checkbox"/> 飼っていない <input type="checkbox"/> 犬(匹) <input type="checkbox"/> 猫(匹) <input type="checkbox"/> その他()
気づき	(眠れているか、食事は食べられているか、車は無事か・・・など)
駐車場所	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(駐車可能台数:)台 <input type="checkbox"/> 徒歩5分以内の有料駐車場あり
使用可能な道具	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 予備の瓦(瓦屋根の場合) <input type="checkbox"/> はしご <input type="checkbox"/> その他()
確認	ボランティア対応はあくまで応急処置の説明 <input type="checkbox"/> 承諾 <input type="checkbox"/> 未承諾

登るなキケン



屋根の上の活動は、技術を持つ技術系NPOでさえ
キケンを伴います。
自分達では登らず、応援が来るまでは安全な方法で
しのぎましょう。

技術がなくてもできる？

屋内での雨漏り対策方法

- ①天井にブルーシートを張る
- ②水の流れ(勾配)を付ける
- ③たらい等で流れてくる水を受け止める
(排水設備が近くにあれば、そこへ直接
流すようにする)

※詳細はこちらの動画をどうぞ



屋根被害NPO家屋調査チェックリスト 解説マニュアル

【お問合せ先】

団体名：特定非営利活動法人 災害救援レスキューアシスト

拠 点：大阪府茨木市松ヶ本町3-16 バーデンスクラブビル526

連絡先：070-6541-5489

メール：rescueassist.japan@gmail.com

ホームページ：<https://rescue-assist.net/>

